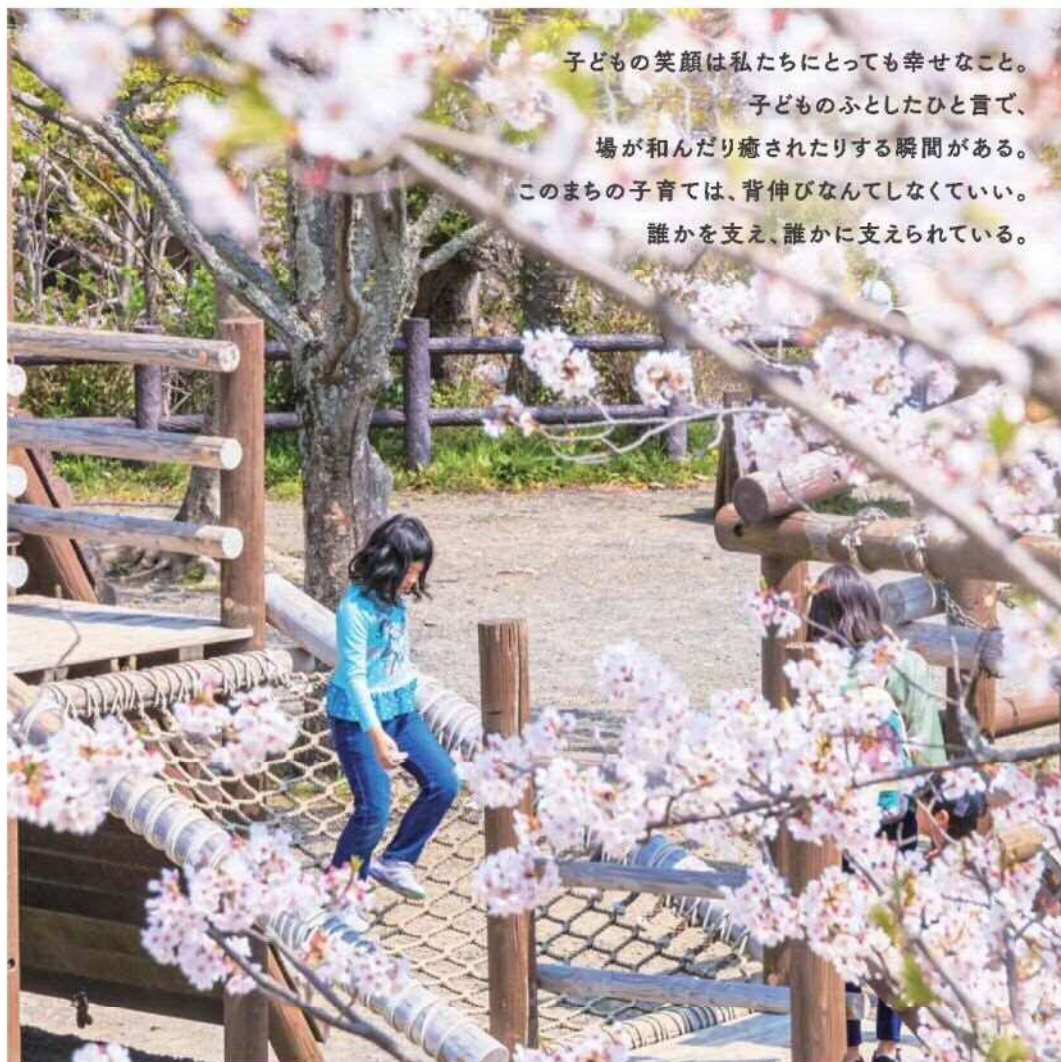


「背伸びしない子育て」がちょうどいい



子どもの笑顔は私たちにとっても幸せなこと。
 子どものふとしたひとりで、
 場が和んだり癒されたりする瞬間がある。
 このまちの子育ては、背伸びなんてしなくていい。
 誰かを支え、誰かに支えられている。

清水船越堤公園

身近な公園

自宅から歩いて行ける公園。屋外でのびのびと遊び、日常的に自然とふれあう。子どもから大人まで幅広い世代の交流の場として日常生活にゆとりと潤いを与えてくれる。



共働きの子育てをサポート

静岡市は2018年から待機児童ゼロを達成中。認定こども園等の保育施設のほかに、日曜日でも安心して預けられる静岡市清水中央子育て支援センターもある。ベテランのスタッフや同世代の子を持つ親がいて、子育ての悩みや不安を打ち明けられるから、案外皆同じような悩みを抱えていることに少し肩の荷がおりる。家に無いおもちゃで遊ぶ姿に子供の成長を感じることもある。



静岡だけ? 自慢の小学校

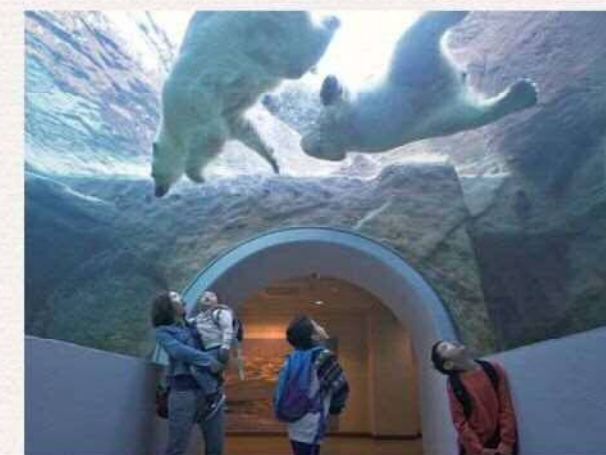
黄色いバッグで、ドライバーにアピールして安全に通学。保護者の旗振りや地域の人の「ながら見守り」が子どもたちの安全を守っている。災害時に活用するのが防災頭巾。防災訓練の際は必ず着用し、平時はイスのクッションとして使っている。



子どもの主体性を育む



静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・るは、子どもたちが仕事体験や疑似通貨を通じて、社会・経済の仕組みを学ぶ施設。子どもたちがまちをつくり、主体性をもって活動する。お店のリーダー「こども店長」は、年下の子の立場に立って行動することができるようになった。家庭や学校ではない場所で、考える力を身につけていく。



定番スポット 日本平動物園

遠足で訪れる小さい頃からの馴染みのスポット。春にはソメイヨシノが咲き誇り、天気の良い日にはお弁当とレジャーシートを持参しピクニックを楽しむ。市内在住・通学の小中学生は無料というのうれしい。